

新規開業企業における創業者のパーソナリティと企業存続

ー 中国創業者のデータを用いてー

氏 名 劉 立 東

指導教員 鳥取部 真己

要旨

世界各国が低成長に苦しむなか、新規開業により経済の活力を高めることが期待されている。しかし日本では、1990年代以降開業率は世界的にも低い水準にあり、新規開業企業を生み出すという量的な側面にくわえて、存続しうる企業を生み出すという質的な側面にも目を向けなければならない。

過去の新規開業企業の存続に関する研究は、主に業種特性(参入市場)や企業の属性、資金調達などに焦点を当てて、開業にまつわる問題を分析してきたが、創業リーダー個人の属性やパーソナリティ、さらには創業チームに関する研究が少ない。そこで、本研究では、創業リーダーのパーソナリティに注目し、創業リーダーのリーダーシップやメンバー間のビジョン共有、創業チームのチームワークなどが、企業存続や企業業績に対する影響を明らかにすることとした。

筆者の創業経験と先行研究に基づき作成されたパーソナリティ測定項目、リーダーシップ項目、ビジョン共有項目、チーム柔軟性項目、チーム学習項目、チームフィードバック項目、チームワーク項目によるアンケートを中国の22省にて実施し、144件の回答を得て、重回帰分析により分析を行った。

その結果、創業リーダーのパーソナリティとして、外向性と誠実さが高い場合に、新規開業企業の存続率と業績が高まることが示された。また、創業チームのチーム柔軟性に逆効果がある、つまりチーム柔軟性が高まることで新規開業企業の存続率や業績が低まることが示された。

筆者自身の今後の創業に、この分析結果を活かすだけでなく、調査協力者へ調査結果のフィードバックを行い、本研究の知見の活用を図りたい。

